



未来を生き抜く力を育てるために

校長 小林 理人

暖かい日差しに誘われ、春の訪れを告げるメジロが元気に飛び回っています。2月は雪が降るなど寒い日が続きました。その影響もあり土壇を彩る紅白の梅の開花が遅れていましたが、このところの暖かさで春の訪れを待っていたかのように咲き始めました。いよいよ春本番です。

先日、6年生の代表委員が校長室に訪ねてきました。そして、6年生を送る会で在校生に託す言葉について説明してくれました。二小への思いを引き継ぐ6年生を送る会の準備が進められています。

本校では6年生を送る会で、次の年度に目標とする行動を6年生の代表委員が在校生に託すことになっています。代表委員は教育目標である「つよく」「かしこく」「あたたかく」の3つ力を意識して、在校生に大切にしたい行動を短い言葉にして伝えます。この行動を表す言葉からは卒業生が二小のリーダーとして意識してきたことや取り組んできたことを感じ取ることができます。

そして、この言葉を意識して学習や行事に取り組んだり生活をしたりすることで、未来を力強く生き抜くために必要な力や行動を示した教育目標の達成につなげています。

代表委員の子供たちが考えた言葉は以下の3つです。代表委員の子供たちは、この言葉を決めるのに6年生全員にアンケートを取ったそうです。アンケートには、リーダーとして活躍した様々な場面で心に残ったことや、二小の良いところなどが書かれており、その中から多くの6年生が挙げた言葉をキーワードとし、分かりやすい文章にまとめたそうです。

私は、様々な行事やクラブ、委員会活動等で発揮した6年生の力や、下学年の子供たちや友達に対しての優しい気持ちをこの言葉から感じました。そして、今年の6年生らしい素敵な言葉だと思い、そのことを伝えました。

つよく	失敗してもいい	そこから前を向いて進み続けよう
かしこく	自分の意見をもって	その場にあった判断をしよう
あたたかく	十人十色	友達のよいところを見つけ認め合おう

新しい年度となり、子供たちがこの言葉を意識して活動することで、教育目標に示された力を育てる活動や行動が二小の伝統となり、子供の力で繋がっていきます。

子供たちの活躍や成長を支える私たち教職員も、教育目標に示された3つの力を育てるために具体的な計画を考えています。保護者の皆様からいただいた貴重なご意見や子供たちの自己評価、教職員による年度末評価等を踏まえ、社会の動向や国や東京都、国立市の方針をもとに作成した計画です。その概要をホームページに掲載しましたのでご覧ください。

開始が遅れていた新校舎の建替え工事がいよいよ始まります。来年度も新しい学校づくりに関連する様々な作業を、子供たちの学習や行事に関連付けながら活力ある教育活動を進めていきます。

新しい内容としては、コロナ禍での貴重な経験を活かした持続可能な学び方、働き方をめざした取組があります。また、国立市全体で進めている多様性の尊重、フルインクルーシブ等の課題に対応した指導、支援や居場所づくりのための取組も計画しています。そして、これまで同様、子供たちはもちろんのこと、保護者、地域の皆様、働く教職員、みんなの笑顔と安心をめざした教育活動を進めていきます。本来ならば直接お話すべきところですが、対面での実施が難しいこともあり、計画の内容を動画にまとめ、保護者会でご視聴いただくことにしました。

3月は教育目標や学級目標、そして、自分の目標などをもとに1年間の成長を確かめ合い、喜び合ったり感謝の気持ちを伝え合ったりする活動を大切にします。そして、来年度に向けて、教育目標を実現するための行動や計画をみんなで考え共有することで、希望あふれる4月を迎えます。